

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院救急科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

アナフィラキシーに関する多施設前向き観察研究

2. 対象となる方

2020年9月（倫理審査委員会承認後）～2023年5月に当院救急外来を受診され、アナフィラキシーと診断されたすべての患者さん

3. 研究目的

アナフィラキシーは全身のアレルギー反応で、時として死亡に至ることもあります。ほとんどのアナフィラキシーの経過は、症状が一時的に出現した後に消失しますが、ときには症状が再燃して再び治療が必要になることがあります。この二相性反応の発症頻度は1%から23%と報告されており、患者さんが病院で治療を受けて帰宅した後に起こることもあるため注意が必要です。しかしこれらの反応に関する本邦での調査は少ないことから、この研究の結果を通して、今後、患者さんにより良い医療を提供できるように役立てたいと考えています。

4. 研究期間

2020年9月（倫理審査委員会承認後）～2023年6月30日（予定）

5. 研究に用いる情報の種類

患者さんの情報（年齢、性別、既往歴）、通常診療で得られる患者さんの症状（発疹、呼吸困難、立ちくらみ、失神、腹痛、嘔吐）、治療および経過の情報等を収集します。また帰宅して1週間経過した頃に、症状に関して電話で調査させて頂くことがあります。

6. 実施方法

この研究に使用する情報を研究代表機関（またはデータセンターなど）に提供させていただきます。研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんの氏名やカルテ番号、住所などが特定できないようにしたうえで提供します。また、患者さんの氏名やカルテ番号を置き換えた番号との対応表も当院で保管し、当院以外へはできません。

【主な提供方法】電子的配信

7. 研究組織

静岡医療センター 大屋 聖郎
前橋赤十字病院 金畑 圭太 ほか

8. 研究代表者及び研究責任者

研究代表者：

静岡医療センター 救急科 部長 大屋 聖郎

当院の研究責任者：

広島市立広島市民病院 救急科 柏 健一郎

9. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院救急科 柏 健一郎